

8/26

「S-Lab」 & 「S-Gallery」 合同オープニング記念式典開催

境町に、平成30年オープン「さかいサンド」、平成31年にオープンした「さかい河岸レストラン茶蔵」に続く、世界的に有名な建築家隈研吾氏の設計した3番目・4番目の施設、「S-Lab」 & 「S-Gallery」のオープニング記念式典が8月26日(水)に行われました。

「S-Lab」は一年を通して境町の特産品をつくりだす研究開発施設であり、「S-Gallery」では、境町にゆかりのある芸術家「肅祭實(しゅくさんぼう)」の作品が展示されます。境町肅祭實美術館「S-Gallery」(境町坂花町1455-1) 入館料330円 休館日/月・火



坂花町にオープンしたS-Gallery

9/4

境町消防団が令和2年防災功労者内閣 総理大臣表彰を受賞

令和元年10月12日(土)に襲った台風19号の際、境町消防団は13日(日)にかけて延べ129名の団員が出勤し、昼夜にわたり、河川の巡視、住民への広域避難の呼びかけを実施しました。

この他、内水により浸水した地域の住民をボート等で人命救助活動を実施し、被害の軽減に多大な貢献をしたことが評価されたことから、9月4日(金)、防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞されました。



受賞報告に訪れた加藤正則団長(右)

8/24

境町・住友林業株式会社・一般社団法人協働プラットフォームと包括連携協定

境町では、8月24日(月)、災害時に被災者向けに活用できる移動式木造建築の開発や普及を目的に、住友林業株式会社・一般社団法人協働プラットフォームと包括連携協定を締結しました。

境町は、利根川が氾濫すると町の約95%が浸水し、町外への広域避難が必要となります。住友林業株式会社が取組んでいる、日本初のCLT(直行集成板)建築技術を用いた移動式木造建築物は、移設・組替えが可能ことから、町では有事の際には避難所として、平時はキャンプ施設などとして活用していく狙いです。



包括連携協定の様子

9/2

境トリニタス真中監督と渡邊選手に 地域おこし協力隊委嘱状を交付

9月2日(水)、境町をホームとしているサッカーチーム「境トリニタス」に今年度、新たに監督に就任した真中靖夫さん、渡邊敬人選手に、境町の地域おこし協力隊として、委嘱状を交付しました。



新たに就任した真中靖夫(真ん中右)さん、渡邊敬人選手(右から3番目)

8/20

境第二中学校が「令和2年7月豪雨」 への義援金贈呈

7月豪雨で甚大な被害を受けた福岡県大牟田市を支援しようと、境二中のJRC(Junior Red Cross(青少年赤十字))委員が8月20日(木)に境町役場を訪れ、義援金42,119円を寄託しました。

この募金は、境二中JRC委員が朝の会の時間に募金活動を行って集めたもので、生徒のほか、教職員や保護者の皆さまからも寄付が寄せられました。お預かりした寄付金は、二中学生の皆さんの手紙とともに早急に大牟田市に届けて参ります。



境二中JRC委員若本康介さん(左から3番目)より義援金と手紙が寄せられました

8/21

第14回キッズデザイン賞受賞

令和2年4月1日に開園した公私連携型保育所「コビープリスクールさかい」が2020年(第14回)KIDS DESIGN AWARDを受賞しました。

キッズデザイン賞は、子どもや子育てに配慮された製品・空間・サービス・活動・研究の中から優れた作品を選び、広く社会に発信していくことを目的に2007年に創設された賞です。



エントランス

幼児ルーム

8/8

道の駅さかいに「沖縄県国頭村公設市場」 がプレオープン

8月8日(土)「道の駅さかい」が友好交流協定を締結している沖縄県国頭村「道の駅ゆいゆい国頭」のアンテナショップ「沖縄県国頭村公設市場」が、道の駅さかいにプレオープンし、オープニング式典が開催されました。

沖縄県国頭村の「道の駅ゆいゆい国頭」と「道の駅さかい」は、平成30年4月に友好交流協定を締結して以来、国頭村で中学生のリーダーシップ研修を開催するなど、親交を深めてきました。今年6月から、国の地方創生拠点整備交付金を活用し、道の駅さかい物産館内に「沖縄県国頭村公設市場」を設置するべく改修工事を進めてきました。今後は、物産の販売等を通じて商工会や観光協会同士の交流を進めていく予定です。



プレオープン当日はたくさんの方で賑わいました

8/20

第4期境地区定住促進住宅の起工式を 開催

長井戸の建設予定地において、8月20日(木)、第4期境地区定住促進住宅の起工式を開催しました。これは、第1期「アイレットハウス モクセイ館」、第2期「アイレットハウス カンナ館」、第3期「アイレットハウス サクラ館」に続く第4弾となる子育て世帯に向けた地域優良賃貸集合住宅で、建物はPFI方式を活用し、町の負担を減らす工夫をしています。完成は来年の3月を予定しており、定住人口の増加や周辺地域の活性化が期待されます。



起工式の様子